

2024年7月31日

## ～ご挨拶～

早期アルツハイマー病に対する低出力パルス波超音波(LIPUS)治療の検証的治験では、大変、お世話になっています。

この検証的治験では、当初7月末の登録完了を目指してスタートしましたが、10月末まで3か月間の延長を決めた経緯があります。しかし、同意取得や登録は比較的順調に進んでいます。本日時点で**339名の同意取得**と**147名の登録**が達成されています。同意をいただいた後で、心理テスト・脳Aβ-PET・脳MRIを行い適格性を検査しますが、約2名に1名が登録されるような結果になっています。したがって、現在339名の同意取得ということは170名の登録が期待されることを意味しています。

10月末までの登録達成に向けて、引き続き、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



治験統括責任者 下川宏明  
SWI社創業者・会長  
国際医療福祉大学 副大学院長  
東北大学 客員教授・名誉教授

## 治験施設の紹介(11) 国立循環器病研究センター(大阪府)

国立循環器病研究センター(大阪府吹田市)は、脳卒中、認知症などの脳疾患や心血管障害を対象とした最先端の大規模医療・研究施設です。昨年11月に本治験のスタートアップミーティングを開催し、現在、32例の同意取得、5例が治験治療開始に至っております。治験責任医師の**服部頼都先生**(認知症先制医療開発部特任部長)、**山口枝里子先生**を中心に着実に治験を進めていただいています。高血圧症、糖尿病、脂質異常症、肥満、喫煙などの生活習慣病、脳卒中などの循環器病が認知症の発症に深くかかわっているため、国立循環器病研究センターでは積極的に認知症予防にも取り組んでおられます。さらに、「国循AI認知症脳ドック」も多くの受診希望者があり、好評を博しています。

国立循環器病研究センター脳神経内科には、eNOS活性化を介した低出力パルス波超音波治療の可能性に注目している先生方が多く、今後も引き続き、本治験の成功のために目標症例数の達成に向けて取り組んでいただきたいと期待しています。



治験責任医師  
服部 頼都 先生

## ベンチャー・バリエーション社のインタビューシリーズへの掲載

ライフサイエンス分野の企業評価、技術・製品評価の調査を行うベンチャー・バリエーション社の「インタビューシリーズ」に、当社創業者・取締役会長 下川宏明教授と取締役社長の加藤肇が取材を受け、当社の取り組みに関する記事が掲載されました(右図と下記URL)。

